

●実務経験のある教員等による授業科目

ヴォーカル科

	科目	1年	2年	必修の別	授業形式	実務経験の有無の別	実務経験授業の 時数
全科 共通 科目	SHOW!音楽エンタテイメントゼミ	57	57	必修	講義	○	114
	デビュー・就職実務Ⅰ	73		必修	講義		-
	デビュー・就職実務Ⅱ		53	必修	講義		-
	著作権		25	必修	講義		-
	PC実習	50		必修	実習		-
	選択授業	34	34	必修	講義		-
	異文化研究	48		必修	講義		-
	イベント制作実習A	118	124	必修	実習	○	242
	イベント制作実習B	270	270	必修	実習	○	540
専門 科目	ヴォイストレーニングⅠ	38		必修	実技	○	38
	ヴォイストレーニングⅡ		38	必修	実技	○	38
	コーラスワーク	38	38	必修	実技	○	76
	ライブパフォーマンス実習Ⅰ	34		必修	実習	○	34
	ライブパフォーマンス実習Ⅱ		36	必修	実習	○	36
	ソルフェージュ	18		必修	実習	○	18
	ヴォーカル実技Ⅰ	18		必修	実技	○	18
	ヴォーカル実技Ⅱ		57	必修	実技	○	57
	作曲実習Ⅰ	38		必修	実習	○	38
	オーディション対策	19		必修	実習	○	19
	PCコンテンツ実習		34	必修	講義	○	34
	音楽理論	19		必修	講義		-
	ヴォーカルレコーディング		38	必修	実習	○	38
	楽曲制作実習	36		必修	実習		-
	コミュニケーション実践		19	必修	実習	○	19
	作曲実習Ⅱ/ピアノ実技		36	選択必修	実習	○	36
	作詞実習	19		必修	実習	○	19
合計	総授業時間数	927					
合計	総授業時間数		859				合計
卒業時最少時間		1786					1414

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	SHOW!音楽エンタテインメントゼミ		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	57 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>日々変化していく音楽・エンタテインメント分野に対し、実際に音楽・エンタテインメント業界企業で仕事をされている方々を毎回特別講師として呼び、オムニバス形式で講義を行う。 講義後は各専攻の学科に対してワークショップなどを行う。 到達目標は、音楽・エンタテインメントに対して、学生が現在の個人的な趣味嗜好を超えた興味関心を持ち、多角的に音楽・エンタテインメントを理解することが出来るようになることである。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
2	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
3	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
4	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
5	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
6	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
7	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
8	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
9	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
10	後期開始前イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
11	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
12	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
13	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
14	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
15	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
16	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
17	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
18	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
19	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出

教科書等	なし 授業形態／遠隔授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各回によって経歴が異なるが、各回ごとに音楽・エンタテインメント企業の講師である。 (2020年度例) エイバックス・マネジメント株式会社、コンサートプロモーターズ協会、AWA株式会社、株式会社コログラフィ 等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務 I		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	73 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p> 通年授業展開、且つ社会人常識マナー検定対策、就職対策も含む 基本PPを使用しての授業展開、漢字の読み・カタカナ用語・都道府県等については宿題を課し、メール作成や社外文書の書き方、郵便の出し方などは実際に早福に送らせ、添削指導を行う。また、検定には出ないが消費税の計算や円高円安における海外旅行の影響(ここは後期)についても時間を割いて実施し、社会人常識を身に付ける。 検定は9月に実施し、合格率90.0%を目指す。後期対策授業は25コマを予定 </p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、社会人としてのルールの基本指導、新潟県について
2	第1編3章 特別講師による講義・レポート提出
3	第1編1章、メールについて① 特別講師による講義・レポート提出
4	第1編3章、メール発信のフィードバック① 特別講師による講義・レポート提出
5	第1編3章、消費税について 特別講師による講義・レポート提出
6	第1編3章、名刺交換について 特別講師による講義・レポート提出
7	第2編3章、メールについて② 特別講師による講義・レポート提出
8	第2編3章、メール発信のフィードバック② 特別講師による講義・レポート提出
9	第2編3章、送付状の書き方・封筒の宛名書きについて① 特別講師による講義・レポート提出
10	第2編3章、送付状の書き方・封筒の宛名下記について② 特別講師による講義・レポート提出
11	第2編2章 特別講師による講義・レポート提出
12	第2編2章 特別講師による講義・レポート提出
13	第3編4章 特別講師による講義・レポート提出
14	社会人常識マナー検定対策、模擬試験・指導
15	手紙の出し方の復習・郵送、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
16	郵送物のフィードバック、志望動機の書き方(将来の夢)について 特別講師による講義・レポート提出
17	志望動機のフィードバック 特別講師による講義・レポート提出
18	自己PRの書き方 特別講師による講義・レポート提出
19	履歴書の書き方① 特別講師による講義・レポート提出
20	履歴書の書き方② 特別講師による講義・レポート提出
21	履歴書の書き方③ 特別講師による講義・レポート提出
22	履歴書送付について、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
23	送付履歴書のフィードバック、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
24	模擬面接指導、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
25	特別講師による講義・レポート提出
26	進路面談・指導
27	労働条件セミナー、生活設計、模擬面接・指導、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出

教科書等	社会人常識マナー検定テキスト2・3級 自作プリント 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	課題レポート提出30%、各期末課題(試験)提出25%、検定結果25%、出席率10%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務Ⅱ		実務授業の有無	×
担当講師	田中 史歩・永島 麻耶 (コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	53 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	就職又はデビューに向けた実務授業。 目標を設定させ、履歴書の書き方、プロフィールの書き方、ビジネスマナー、リスクマネジメント、企業コンプライアンスなどについて学習する。 また、学生主体の自主イベントの企画制作も行いプロ活動につなげて行く。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	アーティスト志望:「マンガラートシート」の作成 就職志望: I【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し～計画。「マンガラートシート」の作成
2	アーティスト志望:履歴書の効果的な書き方。志望動機編 書き出しとフィードバック 就職志望:「マンガラートシート」フィードバック
3	アーティスト志望:履歴書の効果的な書き方。自己PR編 書き出しとフィードバック 就職志望:①【自己PRとは】テーマ:自分の見つけなおしと認知。書き出しとフィードバック
4	アーティスト志望:プロフィール制作方法の講義。 就職志望:②【自己PRとは】テーマ:自分の見つけなおしと認知。書き出しとフィードバック
5	アーティスト志望:企画会議を行い、内容を考える。スタッフ人選決定 校内イベント制作に向けての動機付け・リーダー決め・イベント内容決め。 就職志望:①【夢を志望動機に】志望動機の書き出しとフィードバック。
6	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【夢を志望動機に】志望動機の書き出しとフィードバック。
7	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【失敗と振り返り】失敗の原因を振り返り、プラスにする力を学習する。「自己失敗例の書き出し」とフィードバック
8	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【失敗と振り返り】失敗の原因を振り返り、プラスにする力を学習する。「自己失敗例の書き出し」とフィードバック
9	アーティスト志望:最終チェック/本番 就職志望:①活動状況報告と個別フィードバック
10	アーティスト志望:校外イベント制作に向けての動機付け・リーダー決め・イベント内容決め。 就職志望:【面接対策(印象)】
11	アーティスト志望:企画会議を行い、内容を考える。スタッフ人選決定 就職志望:【レピュテーション(評価)・リスクマネジメント】
12	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:【自己世代を知る】Z世代、ミレニアル世代とされる自身の職場に置かれるポジショニング
13	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②活動報告と個別フィードバック
14	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【コミュニケーション対策】社会人としてのコミュニケーション(社内編)
15	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【コミュニケーション対策】社会人としてのコミュニケーション(クライアント・ユーザー編)
16	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:③活動報告と個別フィードバック
17	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【世論・情勢・経済を読む】新聞記事等を参考にグループワーク。世の中に目を向ける
18	アーティスト志望:企画制作/ゲネプロ 就職志望:②【世論・情勢・経済を読む】新聞記事等を参考にグループワーク。発表とフィードバック
19	アーティスト志望:最終チェック/本番 就職志望: II【目標設定と計画、自覚】「マンガラートシート」の返却と振り返り。

教科書等	なし 授業形態/対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	なし

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	著作権		実務授業の有無	×
担当講師	永島 麻耶		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	25 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽・エンタテインメント業界で活躍するための著作権の知識の吸収と、著作権検定BASICの合格を目指す。 自作PPとテキストを使用することで理解度アップを目指す。且つ模擬問題の解説でより深く知識の吸収を目指す。最終時間は業界から特別講師招いて、身近な生活と著作権の権利の関係を知らせてもらう。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、DVD視&解説
2	X章・I章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
3	II章・III章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
4	IV章・V章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
5	VI章・VII章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
6	VIII章・IX章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
7	模擬問題①②の実施及び解説
8	模擬問題③④の実施及び解説
9	模擬問題⑤の実施及び解説、特別講師による講義・レポート提出

教科書等	テキスト及びDVD(著作権情報センター借用) 授業形態/対面授業のみ実施
成績評価	模擬問題35%、検定結果35%、出席率20%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	PC実習		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	50 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>社会で使用且つ必要されているWord、Excelソフトを使いこなせる能力をテキストや問題集をこなすことで慣れさせ、技術を身に付ける。その確認としてそれぞれ検定の3級合格を目指す。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	Word対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
2	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
3	模擬試験①～③
4	模擬試験④～⑥
5	模擬試験⑦、サンプル問題
6	Excel対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
7	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
8	模擬試験①～③
9	模擬試験④～⑥
10	模擬試験⑦、サンプル問題

教科書等	<p>テキスト・問題集 (Word・Excel共に) 自作のプリント 授業形態／対面授業のみ実施</p>
成績評価	<p>検定結果70%、授業態度10%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	選択授業		実務授業の有無	×
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>本校では自身の専攻学科以外の科目を学べるよう「選択授業」を設定している。 科目数は毎年約30科目ほどである。 各学科の専攻の授業を中心に授業展開がなされ、学生が他専攻の授業を学ぶことによって、幅広い知識・技術を身につけ、自身の将来に生かしていくことを目的とする。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
2	各科目による
3	各科目による
4	各科目による
5	各科目による
6	各科目による
7	各科目による
8	各科目による
9	前期評価 各科目による
10	後期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
11	各科目による
12	各科目による
13	各科目による
14	各科目による
15	各科目による
16	各科目による
17	各科目による
18	各科目による
19	後期評価 各科目による

教科書等	※各科目による 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	※各科目によって異なる 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	異文化研究		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	48 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽やエンタメを仕事にしていくにあたり、広い視野を持つことが非常に重要である。海外の異文化研究を行い、海外の文化等を学ぶことで、自身の視野を広げ、プロデビュー・プロ活動・専門職就職に活かしていく。またパワーポイントでプレゼンを行うことで発表力・企画力を身に付ける。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション チーム分け 研究国決定
2	研究① PP作成
3	研究② PP作成
4	研究③ PP作成
5	各チーム研究成果発表・自己評価・他己評価

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	成果発表内容60%、取り組み姿勢20%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	118 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
15	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
16	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
17	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」 等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	124 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
15	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
16	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
17	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」 等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	270 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」 等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	270 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」 等

SHOW! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

Table with 5 columns: 科目名, フォイストレーニング, 講義実施時期, 実習授業の有無, O

歌声や呼吸に関する科学的知識と、基礎としての生体作用を通じて、声に於ける呼吸の重要性を説明する。...

授業計画

授業テーマ・授業内容・特記事項など

Main table with 19 rows detailing lesson plans, including topics like '呼吸の仕組み' and '歌声の発声'.

Table with 2 columns: 教科書等, 成績評価. Lists textbooks and evaluation criteria.

実務経験教員の経歴: フォーカル・インストラクター・イベントディレクター・チャペル・インストラクターとして10年音楽業界に従事

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	コーラスワーク		実務授業の有無	○
担当講師	中野 和音/大野 知世		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	ヴォーカル科		対象コース	全コース

授業概要	<p>ヴォーカリストとして大切な「相対音感」を身につけるためのトレーニングを行う。 全員での合唱・アカペラ曲の歌唱、少人数でグループにわかれてのコーラスのある曲の歌唱を通し、相手の音を聞く、相手の音に合わせることを通し、1つの音楽を大人数で作りに上げることや、人の音に合わせて自分の声を出す意識を高める。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、授業の趣旨・意義・今後のスケジュール等の説明。 発声練習
2	発声練習 合唱曲① パート別音取り・パート練習
3	発声練習 合唱曲① パート練習・合唱
4	発声練習 合唱曲① パート練習・合唱
5	発声練習 合唱曲② パート別音取り・パート練習
6	発声練習 合唱曲② パート練習・合唱
7	発声練習 合唱曲② パート練習・合唱
8	発声練習 合唱曲③ パート別音取り・パート練習
9	発声練習 合唱曲③ パート練習・合唱
10	後期イントロダクション、授業の趣旨・意義・今後のスケジュール等の説明。 発声練習
11	グループコーラス曲① グループ別練習
12	グループコーラス曲① グループ別練習
13	グループコーラス曲① グループ別練習
14	グループコーラス曲① 発表
15	グループコーラス曲② グループ別練習
16	グループコーラス曲② グループ別練習
17	グループコーラス曲② 発表
18	合唱曲④ パート練習
19	合唱曲④ 合唱

教科書等	各課題曲楽譜・音源を配布 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業態度および学習意欲50%、音程の正確さなど技術全般50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	【大野】小学5年(2002年)から、リゅーとびあ演劇スタジオキッズ・コース「APRICOT」に所属。 その後、高校1年(2008年)からは、リゅーとびあ能楽堂シリーズに出演。 18歳(2011年)にはNew YorkのBroadway Dance Centerに1年間留学をする。 その後、「Harvest」という劇団を立ち上げ2作品上演。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ライブパフォーマンス実践Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	えのもと くみこ		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	ヴォーカル科		対象コース	全コース

授業概要	<p>ライブやイベント出演の際に必要な基礎知識(サウンドチェック、パフォーマンス準備)や技術(演奏力、魅せ方)などを学び、自身のパフォーマンス力向上を図る。 それぞれのパフォーマンスに対してのフィードバックを行い、意見交換をし合う。 実際に自主企画ライブを開催することを想定し、企画の組み立て方、スタッフとのやり取り、運営の仕方なども併せて学ぶ。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション(自己紹介・前期の授業概要説明・ライブ映像鑑賞・ライブハウスの環境を知る)
2	実際にステージに立ち、リハーサルから本番の流れを体感・発表会の曲決め(アップテンポ・バラード系に分ける)
3	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
4	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
5	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
6	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
7	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
8	発表会のゲネリハーサル・フィードバック(企画・構成最終確認、サウンドチェック、仕上がりチェック)
9	発表会
10	イントロダクション(後期の授業概要説明)・曲決め(アップテンポ・バラード系に分ける。前期と反対の選択をする)
11	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
12	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
13	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
14	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
15	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
16	発表会のゲネリハーサル・フィードバック(企画・構成最終確認、サウンドチェック、仕上がりチェック)
17	発表会
18	ライブ練習

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ヴォイストレーナー・歌唱指導歴15年。NegiccoやNGT48など数々のアイドルグループやアーティストを指導、ジャズヴォーカリストの傍らマンダムズでピータンくみこととして、ラジオやテレビのメディア出演など幅広く活動する。これまで個人で2枚のアルバム、マンダムズで5枚のアルバムを発表。一流ホテルのディナーショー・大ホールから地元のお祭りまで多数のステージを経験する。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ライブパフォーマンス実践Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	石田耀子		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	36 時間
対象学科	ヴォーカル科		対象コース	全コース

授業概要	<p>ライブやイベント出演の際に必要な基礎知識(サウンドチェック、パフォーマンス準備)や技術(演奏力、魅せ方)などを学び、自身のパフォーマンス力向上を図る。 それぞれのパフォーマンスに対してのフィードバックを行い、意見交換をし合う。 実際に自主企画ライブを開催することを想定し、企画の組み立て方、スタッフとのやり取り、運営の仕方なども併せて学ぶ。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション(自己紹介・前期の授業概要説明・ライブ映像鑑賞・ライブハウスの環境を知る)
2	実際にステージに立ち、リハーサルから本番の流れを体感
3	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
4	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
5	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
6	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
7	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
8	発表会
9	イントロダクション(後期の授業概要説明・イベントの組み立て方のレクチャー)
10	グループに分かれ、どんなステージにするかを相談(グループワーク)
11	実際にステージを見たりスタッフとやり取りをしながら構成をつくる。
12	ライブ練習
13	ライブ練習
14	ライブ練習
15	ライブのリハーサルを行う(企画・構成最終確認、サウンドチェック、仕上がりチェック)
16	ライブ練習
17	それぞれのグループの企画ライブを行う
教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ヴォイストレーナー歴21年 多くのアーティスト、アイドルを指導、ライブパフォーマンス、レコーディングディレクション行う ニューヨーク、ロサンゼルス、日本にてヴォイストレーニングを受講 自らもアーティスト活動でメジャーデビュー、それに伴うプロモーション活動全般を経験

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ソルフェージュ		実務授業の有無	○
担当講師	野瀬珠美		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	18 時間
対象学科	ヴォーカル科		対象コース	全コース

授業概要	譜面に記してある様々な要素(旋律、リズム、ハーモニー等)を正確に読み取り、正確に表現する。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	2拍子及び4拍子、四分音符と二分音符、順次進行による旋律を正確に歌えるようにする。また八分音符を含むリズム打ちも並行して練習する。
2	3拍子、四分音符と二分音符さらにそれらに対応する休符、順次進行による旋律を正確に歌えるようにする。また八分音符を含むリズム打ちの練習をする。
3	三度音程を含む旋律を正確に歌えるようにする。また八分音符までの音価と四分休符を含むリズム打ちの練習も行う。
4	三度音程を含むさらに複雑な旋律を正確に歌えるようにする。また四分音符、順次進行の調音(書き取り)をする。
5	付点二分音符を含む旋律を正確に歌えるようにする。また八分音符までの音価と八分休符を含むリズム打ちを練習する。
6	タイを含む旋律を正確に歌えるようにする。また四分音符、八分音符、順次進行による 調音を行う。
7	四度音程を含む旋律を正確に歌えるようにする。また八分音符と八分休符を含むさらに複雑なリズム打ちを練習する。
8	四度音程を含む音程をもっと正確に歌えるようにする。またシンコペーションなどを含むリズム打ちの練習をする。
9	これまでに学んだコーリュブングンの実技テスト。またリズム打ち、調音のテストを行う。
10	2度3度音程を含む旋律を歌えるようにする
11	付点四分音符とタイを含んだ旋律を歌えるようにする。また同レベルのリズム打ちをする。
12	4度音程を含む旋律を歌えるようにする。
13	付点四分音符とタイを含んだ旋律を歌えるようにする。また同レベルのリズム打ちをする。
14	5度音程を含む旋律を歌えるようにする。
15	ト長調、ヘ長調とその平行調(ホ短調、ニ短調)の旋律を歌う練習。
16	4度5度音程を含むさらに複雑な旋律を歌えるようにする。
17	ト長調、ヘ長調とその平行調(ホ短調、ニ短調)の旋律で臨時記号を伴った旋律を歌う練習。
18	ト長調、ヘ長調とその平行調(ホ短調、ニ短調)の旋律で臨時記号を伴った旋律を歌う練習。
19	9週までに学んだコーリュブングン、その他の曲を歌う実技テスト。またリズム打ちのテストも行う。

教科書等	コーリュブングン・リズムの基礎・視唱ステップアップ 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	2010年より国際音楽エンタテインメント専門学校、2005年より新潟県立新潟中央高等学校非常勤講師(ソルフェージュ・音楽理論)

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ヴォーカル実技 I			実務授業の有無	○
担当講師	ナタリー石田		講義実施時期	前期・後期	
対象学年	1	年	必修・選択	必修	
対象学科	ヴォーカル科		総授業時間	18	時間
			対象コース	全コース	

授業概要	<p>ヴォーカリスト入門として、初めて歌に向き合う上での必要なスキルや技術的な部分はもちろん、そのうえで人前で歌う「心構え」や、独りよがりではなく聴く人の気持ちを優先した選曲やパフォーマンス。さらに自分では「気づけない」「自分の持つ声の魅力および欠点」を講師の立場からアドバイスできれば、と思います。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	<p>【自己紹介】それぞれに自己紹介してもらい、その際に自分が影響を受けた曲やアーティスト、ジャンルなどをもう一度自分で確認し、最後に今後の方向性や目指すべきものを導き出す。 その後、ヴォーカリストとしての基本的な心構えなどを論じていきます。</p>
2	<p>【自己分析】自分の声質や声量、キャラクターなどを分析する。 自分が影響を受けたヴォーカリストの曲を一曲用意してもらい、そのヴォーカリストのどこに影響を受けたのか、また、自分がどのようなヴォーカリストを目指すべきなのかを導き出していく。主に座学。</p>
3	<p>【歌の披露】現時点で自分が一番自信のある楽曲を披露してもらう。そのうえで、なぜその曲なのか、なぜその曲に魅力を感じるのか？その曲が伝えたいことは？など、「ただ好きで歌っていた」だけではなく、歌の意味、そして「歌う意味」を考える。</p>
4	<p>【テーマ：世界の様々な音楽を知る】 若い学生が聴いたことのない様々なジャンルの音楽を聞いてもらう。それを聴いてどう感じたかを全員でクロストークし、【歌の世界】をより深く感じてもらう。</p>
5	<p>【テーマ：アップテンポの曲】それぞれの長所・短所を自分で見極める為の、まずは「アップテンポの曲」を歌唱してもらう。楽曲のセレクトはそれぞれで選曲。</p>
6	<p>【テーマ：バラード曲】それぞれの長所・短所を自分で見極める為の、次は「バラード曲」を歌唱してもらう。楽曲のセレクトはそれぞれで選曲。</p>
7	<p>【テーマ：自分に本当に合う楽曲1】ここまでやってきて、好き嫌いを別にしてそれぞれに自分の声質、特徴などを考え、自分に合う曲を一曲披露してもらう。それを前期の最終課題曲とするので、今回歌唱後に講師よりアドバイスを出し、次回弱点を直した上でもう一度披露してもらう。</p>
8	<p>【テーマ：自分に本当に合う楽曲2】前週にやった曲を修正・補正して披露してもらう。それを前期の最終課題曲とするので、今回歌唱後に講師よりアドバイスを出し、次回弱点を直した上で最終披露してもらう。</p>
9	<p>【前期最終課題】前回披露して、修正を加えた「自分に合う曲」を完全な形で一曲披露してもらう。 歌詞は見えない・ステージングも意識して、あくまでお客様の目の前で歌ってる事を考え、プロへの第一歩としての歌を全力で。</p>
10	<p>【休み中のエピソード～歌唱】この休眼中に音楽に対する想いの変化や、スキルアップのためになにかやってきたか、などを確認する。その後歌の披露で【どう進化したか、或いは退化したか】を評価する。</p>
11	<p>【テーマ：真逆の曲】自分のキャラや正確、声質などをそろそろ理解しているこの時期に、敢えて全く真逆の曲を披露して下さい。新しい発見や、レパートリーが増える可能性があります。</p>
12	<p>【テーマ：洋楽】現代の若い子は洋楽に触れる機会が少ないと思われます。そこで洋楽のデュエット曲に挑戦。ハーモニーの大切さ、他の音を聴く重要性。そして、英語曲ならではの発声や発音などにも言及します。</p>
13	<p>【テーマ：洋楽2】前回初めて聴いたであろう洋楽曲を練習してきてもらい、練習の成果を披露。ハーモニーの大切さ、他の音を聴く重要性。そして、英語曲ならではの発声や発音などにも言及します。次回の授業で完成形を披露。</p>
14	<p>【テーマ：洋楽3】課題洋楽曲の完成形を披露。フェイクやシャウトの付け方などもレクチャーしつつ、より本物に近いカタチで歌えるコツを伝授。</p>
15	<p>【テーマ：幅広い年代層に向けて】不特定多数のお客さんが集まる街なかのフリーライブ出演と仮定して選曲して下さい。独りよがりの選曲でなく、幅広い年代層の人が笑顔になったり涙するような選曲を。この日に最終課題曲配布。</p>
16	<p>【テーマ：90～80年代の曲】90～80年代といってもすでに学生にとってはまだ生まれてもいない年代。この時代の曲を選曲し、歌唱してもらいます。</p>
17	<p>【テーマ：ハモリ】男女、男男、男女、ペアを組んでデュオ曲を披露。ハモリパートを分担し、美しいハーモニーを紡ぎ出してください。この日に最終課題曲を渡します。</p>
18	<p>【テーマ：課題曲の進展状況を確認】最終課題曲を現時点でどこまで歌えるか練習として披露。歌いこなせていない部分などを細かくチェックします。</p>
18	<p>【評価課題曲】二週前に渡しておいた課題曲を披露してもらいます。歌い込み、完成度を評価します。</p>

教科書等	特になし。 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業での歌唱評価、及び上達度80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	マンダムズのボーカリストとして19年、また、ジャズ、ポップスシンガーとして活動。チャペルソリストとして18年、他、数々のステージで活動中。県内のCMソング歌唱やテレビ・ラジオなどでナレーターとしても活躍。

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ヴォーカル実技Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	CHiCO		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	57 時間
対象学科	ヴォーカル科		対象コース	全コース

授業概要	ヴォーカリストに必要な技術、セルフプロモーションの方法等、ヴォーカリストとしてのスキル全般を学びます
------	--

授業計画	
回数	
1	現在の目標とそれに向けての活動等ヒアリング・個々の実力チェック
2	キー確認、発声、リズムトレーニング
3	課題曲決め、実技チェック
4	個別トレーニング
5	個別トレーニング
6	アーティストイメージを持ってパフォーマンス、見せ方練習
7	アーティストイメージを持ってパフォーマンス、見せ方練習
8	ライブパフォーマンス審査に向けてのリハーサル
9	ライブパフォーマンス審査

教科書等	なし 授業形態／遠隔授業のみ実施
成績評価	ヴォーカル実技60%、授業態度および学習意欲40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	ユニバーサルよりメジャーデビュー。多くのメジャーアーティストのトレーニングも行い、ゲーム音楽を始め音楽制作にも携わる。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	作曲実習 I		実務授業の有無	○
担当講師	中野 和音		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	38 時間
対象学科	ヴォーカル科		対象コース	全コース

授業概要	<p>ヴォーカリストは歌を歌うだけでなく楽曲制作のノウハウも知っていなければいけない。 また自分を売り出すためにはオリジナル曲があることが不可欠な時代となっている。 ステージ発表、オーディションに向けて、自身で作詞作曲したオリジナル楽曲を作成するため、スコアの知識、コードに対するメロディ付けを学ぶ。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期授業概要説明、Pro Toolsインストール
2	Mac Book利用の仕方、Pro Toolsというソフトについて
3	楽曲インポート方法、テンポの合わせ方
4	楽曲インポート方法、テンポの合わせ方
5	オーディオインターフェースの種類と使い方、ヴォーカルREC方法
6	オーディオインターフェースの種類と使い方、ヴォーカルREC方法
7	ヴォーカルREC実習①
8	ヴォーカルREC実習②
9	前期まとめ、後期までの課題提示
10	後期授業概要説明、前期課題確認
11	MIDI入力の方法①
12	MIDI入力の方法②、メロディ作曲①
13	メロディ作曲②
14	メロディ作曲③
15	作ったメロを歌ってみよう①
16	作ったメロを歌ってみよう②
17	メロダインの役割、リズム補正、ピッチ補正の重要性①
18	メロダインの役割、リズム補正、ピッチ補正の重要性②
19	後期まとめ、オリジナル曲発表

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業態度50%、課題制作30%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ピアノ&ヴォーカルユニット「Cacis」のピアニスト・作曲家として新潟県を中心に13年活動中。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	オーディション対策		実務授業の有無	○
担当講師	田中 史歩		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	19 時間
対象学科	ヴォーカル科		対象コース	

授業概要	①プロフィール作成：写真撮影も含めて ②自己紹介動画：自分の作品をストックしておく ③音源編集、CD作成、データ管理など ④基本的なPCデザイン知識・技術 ⑤基本的なPC動画編集知識・技術 以上の事を踏まえ、模擬オーディション開催し、評価。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	【PC設定】 Office365稼働 Excel、Word使えるように設定 プロフィールシートを渡しておく。
2	【プロフィールシート作成】 随時更新出来るよう、Excel授業を行う。 入力、写真挿入
3	【YouTubeサムネイル作成】 Canvaをログインさせ、架空の動画のYouTubeサムネイルを実際に作ってみる。
4	【カット音源編集】① Garagebandを使い、フル尺音源を1コーラスに作ってみる。全員で同じ作業を行い、操作指導。
5	【カット音源編集】① 事前に3曲を用意しておき、3曲とも1コーラスに編集する。カット音源編集の反復練習。 ※宿題 歌っている自分を撮影する動画を用意しておく。
6	【動画編集】 iMOVIEを使って動画編集。 宿題：自身のYouTubeアカウントに歌ってみた動画をアップ。(限定公開)
7	音源編集 Garageband① 機材を使って自分の歌を録ってみる
8	音源編集 Garageband① 機材を使って自分の歌を録ってみる
9	前期まとめ
10	模擬オーディション 一人1曲ワンコーラス① プロフィール+音源編集(1コーラス) 準備 オーディションの様子を動画で撮影
11	模擬オーディション 一人1曲ワンコーラス② プロフィール+音源編集(1コーラス) 準備 オーディションの様子を動画で撮影
12	模擬オーディションフィードバック 実際のオーディションに向けて皆で経験し、対策をとる
13	【PC実習 データ管理編】 もっとPCを使いこなすための授業。自身のPCを使ってデータ整理を行う。
14	【PC実習 デザイン編①】 Canvaは何でも作れる。自分のグッズを作成しよう！
15	【PC実習 デザイン編①】 Canvaは何でも作れる。自分のグッズを作成しよう！
16	【PC実習 デザイン編①】 Canvaは何でも作れる。チームを作って、簡単な動画を撮影。 動画編集、YouTubeアップまでを行う。
17	【PC実習 デザイン編②】 Canvaは何でも作れる。チームを作って、簡単な動画を撮影。 動画編集、YouTubeアップまでを行う。
18	【PC実習 デザイン編③】 Canvaは何でも作れる。チームを作って、簡単な動画を撮影。 動画編集、YouTubeアップまでを行う。
19	各グループ発表

教科書等	なし
成績評価	作品提出：70% 出席率：20% 授業態度、意欲：10%
実務経験教員の経歴	2001年～2004年：ATOM HEART MOTHERにてフォトデザイナーとして勤務。 Photoshop、Illustratorを利用し、プライダリアルバムや飲食店のメニュー、イベントポスター作成。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	PCコンテンツ実習		実務授業の有無	○
担当講師	儀間 鴻太		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	ヴォーカル科		対象コース	ヴォーカルコース

授業概要	主に実用的な画像編集や動画編集を学び、自身でSNSの広告または告知動画、teaserなどを制作する授業。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	【動画編集】動機付け→カット割・音入れ
2	【動画編集】前回の復習→エフェクト導入&説明
3	【動画編集】動画を作成するための素材撮影→自身で動画を作成する
4	【動画編集】前回の続き→作品発表
5	【画像編集】デザイン基礎知識
6	【画像編集】サムネイル作成
7	【作品作成】30秒程度の自身のPV作成
8	【作品作成】前回の続き
9	発表会&ディスカッション
10	【動画編集】動機付け→カット割・音入れ・エフェクト使用・素材撮影
11	【動画編集】動機付け→カット割・音入れ・エフェクト使用・素材撮影
12	【動画編集】動機付け→カット割・音入れ・エフェクト使用・素材撮影
13	【動画編集】カラーグレーディング基礎
14	【動画編集】カラーグレーディング基礎
15	【作品作成】1分間の作品を制作。(PR動画またはPV動画)
16	【作品作成】前回の続き
17	発表会&総評

教科書等	Premiere pro・Photoshop
成績評価	授業態度および学習意欲50%、課題50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	UNTIYダンス舞台 2回出演 UNITY ONLINE 舞台 出演 SUGA×SHOW!動画プロジェクト(撮影、動画編集、振り付け) San Diego留学(三ヶ月)

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	音楽理論		実務授業の有無	×
担当講師	浅間 千央		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	19 時間
対象学科	ヴォーカル科		対象コース	全コース

授業概要	音楽理論の基礎からコード理論・コードスケールの基本と相互関係を総合的に学びます。 到達目標は、読譜、記譜ができるようになり、音楽理論を活用した作曲やアレンジができるようになる事。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション・音楽理論とは何か。
2	メジャースケールの理解。
3	音符・休符・リズムの理解(基本編)。
4	音符・休符・リズムの理解(リズムトレーニング編)。
5	音符・休符・リズムの理解(符点音符・リズムトレーニング編)。
6	音程(インターバル)の理解(完全音程・長音程・短音程編)。
7	音程(インターバル)の理解(増音程・減音程編)。
8	前期末テスト。
9	前期末テスト解説。
10	和音の理解(三和音編)
11	和音の理解(四和音編)
12	和音の理解(テンションコード編)
13	和音確認テスト・答え合わせ・解説
14	メジャーダイアトニックコードの理解(基本編)
15	メジャーダイアトニックコードの理解(コード進行編)
16	メジャーダイアトニックコードの理解(コード進行編)
17	メジャーダイアトニックコードの理解(コードスケール編)
18	後期末テスト
19	後期末テスト解説

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ヴォーカルレコーディング		実務授業の有無	○
担当講師	ナタリー石田		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	ヴォーカル科		対象コース	全コース

授業概要	<p>実際のレコーディングを通して、コンデンサーマイクでのヴォーカリング、ヘッドフォン(イヤフォン)を使っでのモニタリングやキューボックスの操作に慣れ、自分にとって歌いやすいセットアップ法を学ぶ 録音した歌に対しディレクションを行い、より洗練されたデモを仕上げていく 声の特性や表現の細部まで、新たな発見の場となる</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、選曲のポイント説明、目的を明確にし、目標を立てる
2	レコーディング
3	レコーディング
4	レコーディング、学生がディレクション
5	レコーディング、学生がディレクション
6	レコーディング、学生がディレクション
7	レコーディング、学生がディレクション
8	レコーディング、学生がディレクション
9	レコーディング、学生がディレクション
10	レコーディング、学生がディレクション
11	レコーディング、学生がディレクション
12	レコーディング、学生がディレクション
13	レコーディング、学生がディレクション
14	レコーディング、学生がディレクション
15	レコーディング、学生がディレクション
16	レコーディング、学生がディレクション
17	レコーディング、学生がディレクション
18	レコーディング、学生がディレクション
19	作品視聴会

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業態度および学習意欲70%、デモ音源評価30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	マンダムズのボーカリストとして19年、また、ジャズ、ポップスシンガーとして活動。チャペルソリストとして18年、他、数々のステージで活動中。県内のCMソング歌唱やテレビ・ラジオなどでナレーターとしても活躍。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	楽曲制作実習 I		実務授業の有無	×
担当講師	古俣 敦也		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	36 時間
対象学科	ヴォーカル科		対象コース	全コース

授業概要	無料音楽ソフトを使用した楽曲制作を学ぶ。 コード理論やスコアトレーニングを織り交ぜながら、最終的には自身のオリジナル楽曲を制作できるようになる。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、授業概要説明、講師紹介など
2	スコアトレーニング①
3	スコアトレーニング②
4	コード理論①
5	コード理論②
6	コード理論③ メロディ付け練習
7	メロディ付け練習
8	メロディ付け練習
9	発表
10	イントロダクション、授業概要説明、前期のおさらい
11	複雑なコード①
12	複雑なコード②
13	メロディ付け練習
14	メロディ付け練習
15	コード付け練習①
16	コード付け練習②
17	オリジナル曲制作①
18	オリジナル曲制作②
19	発表

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	最終授業課題提出50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	なし

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	コミュニケーション実践		実務授業の有無	○
担当講師	大野知世		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	19 時間
対象学科	ヴォーカル科		対象コース	全コース

授業概要	ヴォーカルリストとして、ステージに立った際に必要とする歌以外のレッスンをを行う。 姿勢、歩き方、表情、言葉の発声練習、お芝居などを学ぶ。 また、イベント出演の準備や進路に関することにも取り組む。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	グループディスカッションを行い、ここまでの自分の活動やクラスについてを振り返り、今後の課題点を見つけていく。
2	姿勢、歩き方のトレーニング
3	表情のトレーニング
4	言葉の発声練習、お芝居のトレーニング
5	言葉の発声練習、お芝居のトレーニング
6	イベントに向けての練習や面談
7	イベントに向けての練習や面談
8	イベントに向けての練習や面談
9	前期の振り返り
10	サマーレビューの振り返り 反省
11	就職、デビューに向けての具体的な案を再考慮
12	各自、今必要なコンテンツに取り組む
13	各自、今必要なコンテンツに取り組む
14	各自、今必要なコンテンツに取り組む
15	各自、今必要なコンテンツに取り組む 個人面談
16	各自、今必要なコンテンツに取り組む 個人面談
17	各自、今必要なコンテンツに取り組む 個人面談
18	各自、今必要なコンテンツに取り組む 個人面談
19	各自、今必要なコンテンツに取り組む

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	出席率40%、授業態度および学習意欲60% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	“小学5年(2002年)から、りゅーとぴあ演劇スタジオキッズ・コース「APRICOT」に所属。 その後、高校1年(2008年)からは、りゅーとぴあ能楽堂シリーズに出演。 18歳(2011年)にはNew YorkのBroadway Dance Centerに1年間留学をする。 その後、「Harvest」という劇団を立ち上げ2作品上演。”□

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	作曲実習Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	真柄 伸彬		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	選択必修
対象学年	2	年	総授業時間	36 時間
対象学科	ヴォーカル科		対象コース	

授業概要	<p>ヴォーカル科の学生に向け、ポピュラー音楽の作曲技法を紹介し、それを元に各自課題曲の制作に取り組んでもらう。音楽理論・コード理論の基礎や、メロディーとハーモニー制作、伴奏アレンジについて取り扱う。シンガーソングライタースタイルの活動を確立できるようになることが到達目標である。また、課題曲の制作には業界標準ソフトウェアである『ProTools』を用いて行うため、その基本操作方法についても学んでもらう。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業概要説明、ガイダンス作曲と音楽の3要素についてメロディーメイキング課題①-1
2	キーとスケール、音程、メジャー・コードとマイナー・コードメロディーメイキング課題①-2
3	ダイアニック・コード①ベーシック・コードコード進行制作課題①-1
4	ダイアニック・コード②その他のコードコード進行制作課題①-2
5	メロディーにおけるアヴェイラブル・テンションとアヴォイドメロディーメイキング課題②
6	ハーモニー制作法ハーモニー制作課題①(メロディーメイキング課題②のメロディーにハーモニーをつける)
7	セカンダリー・ドミナント・コードとその他の汎用コードコード進行制作課題②
8	楽曲の構成論ヒット曲の簡易楽曲分析(分析楽曲については学生に取り上げて欲しい曲をアンケートし適したものを数曲採用する)
9	伴奏アレンジとリズム伴奏アレンジによるコードサウンドのコントロールについて伴奏アレンジ制作課題①
10	DTM活用のガイダンス評価週作曲課題
11	ポピュラーアレンジ: バンドサウンド・アレンジメント/①ベース・アレンジ
12	①ベース・アレンジ実習
13	ポピュラーアレンジ: バンドサウンド・アレンジメント/②ドラムス・アレンジ
14	②ドラムス・アレンジ実習
15	ポピュラーアレンジ: バンドサウンド・アレンジメント/③-1エレクトリックギター・アレンジ
16	③-1エレクトリックギター・アレンジ実習
17	ポピュラーアレンジ: バンドサウンド・アレンジメント/③-2アコースティックギター・アレンジ
18	オリジナル楽曲制作③
教科書等	なし 授業形態/対面授業のみ実施
成績評価	制作課題70%、授業態度および学習意欲30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	新潟市を拠点に作曲家として10年活動中。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	キーボード実技		実務授業の有無	○
担当講師	塩田美月		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	選択必修
対象学年	2	年	総授業時間	36 時間
対象学科	ヴォーカル科		対象コース	

授業概要	<p>ピアノ演奏の基礎となるトレーニングを実施。 楽譜の読み方、運指、リズム、奏法を学び、実践に繋げる。 ピアノソロでもアンサンブルでも活用できる技術を学ぶ。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション(動機付け) スキルチェック、ピアノ基礎トレーニング
2	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 楽譜の読み方を学ぶ、簡単な課題曲提示
3	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 課題曲の練習・チェック
4	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 課題曲の練習・チェック
5	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 課題曲発表→フィードバック、コードの読み方について学ぶ
6	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) コードの種類を学ぶ、課題曲提示
7	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 課題曲の練習・チェック
8	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 課題曲の練習、チェック
9	ピアノ基礎トレーニングのテスト 課題曲発表→フィードバック 前期まとめ
10	イントロダクション(動機付け、後期目標設定) ピアノ基礎トレーニング、自由課題曲選定(ピアノソロ)
11	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 自由課題曲の練習、チェック
12	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 自由課題曲の練習、チェック
13	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 自由課題曲の練習、チェック
14	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 課題曲発表→フィードバック、自由課題曲選定(伴奏)
15	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 自由課題曲の練習、チェック
16	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 自由課題曲の練習、チェック
17	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 自由課題曲の練習、チェック
18	ピアノ基礎トレーニングのテスト 自由課題曲発表→フィードバック 後期まとめ

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	出席率20%、授業態度および学習意欲40%、課題テスト40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	幼少期～現在までYAMAHAにてピアノ(クラシック)を習う。 国際音楽・ダンスエンタテインメント専門学校 ヴォーカル科ヴォーカル&楽器(キーボード)コース卒業。 新潟で活動しているバンド「Chic Sick」にてキーボード&コーラスを担当。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	作詞実習		実務授業の有無	○
担当講師	富田 一輝		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	選択必修
対象学年	2	年	総授業時間	19 時間
対象学科	ヴォーカル科		対象コース	

授業概要	<p>作詞に関し、DAWソフトを使用しつつ基礎的な技法を学ぶ。 ①既存曲から希望楽曲の選定②作詞③ブラッシュアップ④仮歌の録音 上記を基本的な流れとし、最終的にはタイアップ等を想定した作詞にも挑戦することで、作詞の技術だけではなく、エンタテインメントに関し多角的な視点を持てるようになることを目標とする。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期イントロダクション(動機付け等)
2	CMソングについて 短い時間で印象に残すための技法について解説。
3	CMソングについて 課題曲を実際に制作しつつ、DAWの操作方法を解説。
4	個人課題① 作詞を行う課題曲を2曲選定。
5	個人課題① テーマを決定次第制作開始。
6	個人課題① 制作物のブラッシュアップ。
7	個人課題② 2曲目の制作開始。
8	個人課題② 制作物のブラッシュアップ。
9	期末考査(制作物の発表)
10	前期イントロダクション(動機付け等)
11	CMソングについて 短い時間で印象に残すための技法について解説。
12	CMソングについて 課題曲を実際に制作しつつ、DAWの操作方法を解説。
13	個人課題① 作詞を行う課題曲を2曲選定。
14	個人課題① テーマを決定次第制作開始。
15	個人課題① 制作物のブラッシュアップ。
16	個人課題② 2曲目の制作開始。
17	個人課題② 制作物のブラッシュアップ。
18	期末考査(制作物の発表)
教科書等	なし
成績評価	<p>課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>音楽制作会社SUPA LOVE所属 アニメ「理系が恋をしたので証明してみた」OP主題歌 作編曲 アニメ「キラッとプリちゃん」EDテーマ 作編曲、アニメ「SHOW BY ROCK!!ましゅまいれっしゅ!!」挿入歌 作詞、作編曲 他、メジャーアーティストやアニメソングを中心に多数楽曲提供を行う。</p>